



1人1台のパソコンを活用した授業が 始まります!



保護者の皆様へ

うるま市では、全国の小・中学校が対象となっている「GIGAスクール構想(文部科学省)」に基づき、1人1台のパソコンを活用した授業を始めまいります。

子ども達が成人して社会で活躍する頃には、絶え間ない技術革新等により、社会や職業のあり方そのものが大きく変化する可能性があります。

そうした時代を乗り越えるため、子ども達は主体的に考え、他者と協働しながら価値の創造に挑み、未来を切り開いていくことができる資質・能力を育むことが求められています。

学校では、これまでの教育を大切にしつつ、激動する社会で強く生きていくために、ICTを活用した学習活動に取り組む未来の学校づくりをはじめまいります。



保護者の皆様には、こうした時代の変革にご理解いただき、ICTを活用した学習活動にご理解をお願いします。

※GIGAスクールの「GIGA」とは、データの大きさを表すギガバイトの「ギガ」ではなく、「Global and Innovation Gateway for All」の頭文字を取ったものです。直訳すると「全ての人にグローバルで革新的な入口を」となり、令和元年に文部科学省が提唱した学校教育におけるICT環境整備に関する構想です。

どんな職業でもICTが必要となってきます。



これからの子ども達に必要な資質・能力を、パソコンを活用して育む教育が

「GIGAスクール」です。

これからの学びは、先生から「教えてもらう」ものから、「自分で学ぶ」ものへと変わります。自分から調べたり、まとめたり、意見を出し合ったりする道具として、自分専用のパソコンを活用します。

また、自分で課題を見つけ、解決を目指す学習にも挑戦させていきます。

※パソコンは授業などで学習活動のために使うことを目的に、学校から一人ひとりに貸与します。

投げたり、踏んだり、水をかけたりなど“故意または重大な過失”により破損させた場合には、修理費などを保護者に負担していただく場合があります。

子ども達には、学校備品を大切に扱うことについて、家庭でもご指導をよろしくお願いします。

(※パソコンの家庭への持ち帰りは、今後検討してまいります。)

裏面も確認ください

本市では、ICTの特徴・強みを活かし、GIGAスクール構想が目指す、多様な子ども達を誰一人取り残すことなく、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現に取り組みます。

※うるま市がめざす子ども像（うるま市GIGAスクール構想推進ビジョン（令和2年9月））

主体的に学び、自らの考えを伝えるとともに、他者の考えを理解し、
多様な人々と協働して新たな価値を見出したり、問題を解決しようとする子

身に付ける資質・能力



- 情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能
- 情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する力
- 相手や状況に応じて情報を適切に発信したり、発信者の意図を理解する力
- 他者との協働や複数の情報を結びつけ、新たな価値を見出したり、自分の考えを深めたりする力
- 情報を多角的・多面的に吟味し、その価値を見極めていこうとする態度
- 情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度



1人1台パソコンではない環境

1人1台パソコンの環境

一斉学習	教師が電子黒板等（大型掲示装置）を用いて説明し、子ども達の興味関心意欲を高めることはできる
個別学習	全員が同時に同じ内容を学習する（1人1人の理解度等に応じた学びは困難）
協働学習	意見を発表する子どもが限られる

学びの進化

学びの転換

<ul style="list-style-type: none"> ・教師は授業中でも1人1人の反応を把握できる → 子ども達1人1人の反応を踏まえた、双方向型の一斉授業が可能に 	
<ul style="list-style-type: none"> ・各人が同時に別々の内容を学習 ・個々人の学習履歴を記録 → 1人1人の教育的ニーズや学習状況に応じた個別学習が可能 	
<ul style="list-style-type: none"> ・1人1人の考えをお互いにリアルタイムで共有 ・子ども同士で双方向の意見交換が可能に → 各自の考えを即時に共有し、多様な意見にも即時に触れられる 	